

公表: 令和 6年 2月 29日

事業所名: アトム放課後等デイサービス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		活動内容に応じてスペースの使い方を工夫している	活動エリアの工夫や構造化、集団活動と個別活動の区別を工夫する
	2 職員の配置数は適切である	100%		ニーズに対応できるようにしている 言語聴覚士の配置	指定基準人員に加えて、児童指導員等、強度行動障害支援者養成研修(基礎研修・実践研修)修了者の配置
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%		安心安全に活動ができるように環境設定をしています	発達状況に配慮した環境等障がいの特性に応じた安全確保・危険予知を心がけます
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%		支援計画に沿った支援内容の確認等PDCAサイクルを職員が実践しています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		最低年1回実施し業務改善をしています	保護者の意向を把握し、業務改善に努めます
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		ホームページに公開 https://atom-resupport.com/ 会報『アトムだより』と事業所内掲示にて公開しています	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		100%		計画します
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		虐待・身体拘束・感染・人権等の各研修を年間計画で実施しています	全職員に事業所内及び外部研修等の機会を検討します
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%		アセスメントを適切に行い、ニーズや課題を客観的に分析し、放課後等デイサービス支援計画を作成しています	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%		アセスメントシートを使用しています	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		複数の職員で企画しています	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		固定化しないようにしています	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%		余暇の過ごし方、ソーシャルスキル、ストレスの発散等を考慮した支援を工夫しています	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%		個別活動と集団活動、子どもの目標に沿って放課後等デイサービス支援計画を作成しています	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		個々の支援内容等の確認、分担等のミーティングを行っています	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%		個別支援日報等の記録の際、共有・振り返りを行っています	職員間で、支援終了後に振り返り・共有等を適性に行います
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		個別支援日報等の記録し、支援の検証・改善に役立っています	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%		保護者・利用者とのコミュニケーションを図り、定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しています	見直しが必要であれば都度、見直しをします	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%		複数組み合わせ実施しています		
関係機関や保護者との連携	20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		その子どもの状況に精通した者が参画しています	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%		保護者等や学校との情報共有を適切に行っています	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				これまでに事例がありませんが、積極的に連携して支援します

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%		情報共有を適時行っています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%		保護者等の要望により、対応しています	障がい福祉サービス事業所等との連携が必要なケースについては、連携・情報共有します。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%		情報共有・助言・研修等の機会があります	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%		地域の公園等で、機会があります	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		100%		検討します
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		相互に伝え合い共通理解を得るようにしています	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%		保護者等が相談しやすい環境を整えています	計画します
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%		契約時や変更等が生じた場合に説明しています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		適時、必要な助言や支援を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		100%	保護者会等は発足していません	保護者会等の開催を企画します
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		迅速かつ適切に対応しています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		月に1回『アトムだより』発行、不定期にSNS等で活動の様子を発信しています	今後も様々な情報ができるように努めてまいります
	35	個人情報に十分注意している	100%		個人情報の管理を徹底しています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		送迎時や連絡帳、メール等を利用しています	必要に応じて、口頭・書面で伝達するようにします
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%			計画します
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%		マニュアル策定しています	マニュアルの周知・訓練の実施をします
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		年に2回以上の訓練実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		虐待防止委員会を設置し体制の見直し・研修をしました	虐待防止委員会の適正な活動と職員のメンタルヘルスチェック等の実施
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%		十分に説明して子どもと保護者に身体拘束の同意を得ている支援計画に記載し、組織的に決定し、その時の記録をするようにしています 身体拘束等適正化委員会を設置し体制の見直し・研修をしました	身体拘束等適正化委員会の適正な活動実施
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		医師の指示書又はアレルギー疾患に関する調査票等を十分確認し対応しています		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		ヒヤリハット記録の共有をしています		